

2021-22 年度 RI テーマ：奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

ガバナー方針：「チェンジローター 新時代への成長に！」— コロナゼロ・カーボンゼロ支援 —

クラブ方針：「楽しく、優雅なローター活動を」～ Enjoy & Grace Under Pressure ～



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

名古屋空港ロータリークラブ

名古屋市中村区名駅 3-11-13 レジデンス鈴木 1101

[TEL] 052-446-6811 [FAX] 052-446-6812

E-Mail: rongoapt@mta.biglobe.ne.jp

会長/ 田邊 雅彦

幹事/ 川口 直也

公共イメージ向上委員長/ 杉本 敦永

例会日/毎週月曜日 12:30~13:30

例会場/名古屋マリオットアソシアホテル



第 2072 例会

2021 年 10 月 25 日 (月) 第 11 回

- 点 鐘 会長 田邊 雅彦 君
- 斉 唱 「四つのテスト」
- 例会行事 卓話 地区米山記念奨学委員
小川 剛史 君 (名古屋北 RC)
「米山の現在と未来について」
- 司 会 前田 幹太 SAA 委員

会長挨拶

名古屋空港ロータリークラブ会長 田邊 雅彦君

会員の皆様、こんにちは。

今月は米山月間ということもあり、本日は地区米山記念奨学委員の小川剛史君においでいただき、卓話をしていただくことになっております。よろしくお願いいたします。

さて、先週木曜日、原田好展ロータリー情報 副委員長の設定により、入会3年未満である暮沼勇二郎君、大野和弘君、前田幹太君の3名にお集まりいただき、本年度第1回の新入会員勉強会を開催させていただきました。

また土曜日には犬山ロータリー60周年記念式典がリトルワールドで開催されましたので、川口直也幹事とともに出席してまいりましたことをご報告申し上げます。

私の挨拶はこれまでで、本日は、副会長の近藤和彦君に会長挨拶をお願いしたいと考えております。

近藤副会長、よろしくお願いいたします。



副会長挨拶

名古屋空港ロータリークラブ副会長 近藤 和彦君



皆さんこんにちは。今期副会長を拝命しております近藤です。会長挨拶を代行しなさいとの田邊会長からのご指示で、本日は私からご挨拶申し上げたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、ご挨拶の件を承ったのですが何を申し上げようかと悩みまして、そういえば私がまだソフトウェアの仕事をしていたころ「今日は何の日？」というソフトウェアが有ったことを思い出し、早速インターネットで10月25日を検索しました。今日は、世界パスタデー、産業観光の日、民間航空記念日、リクエストの日、島原の乱の日、新潟米の日、信濃の国カレーの日、プリンの日、天神様の縁日、だそうです。9項目ヒットしましたがどちらかと言うと少ない日の様で、10月10日は70項目ヒットいたしました。ちなみに10月10日は亀田の柿の種の日だそうです。

話を今日に戻しまして、9項目の内まず外せないのは「島原の乱の日」だと思います。1637年(寛永14年)のこの日、過酷な年貢の取立てやキリシタン弾圧に耐えかねた島原の領民が代官・林兵左衛門を殺害し、「島原の乱」が勃発しました。

江戸時代初期に起こった日本の歴史上最も大規模な一揆

委員会報告

●出席報告 (内海 辰巳副委員長)

本日の例会					
会員数	47		出席率	86.05%	
出席者	出席義務者	21	欠席者	出席義務者	6
	出席免除者	16	欠席者	出席免除者	4
	出席者計	37	欠席者	欠席者計	10

●ニコニコボックス報告 (稲吉 将秀 副委員長)

本日の米山月間の卓話、宜しくお願いします。

地区米山記念奨学委員 小川 剛史 君
地区米山記念奨学委員 小川剛史君、ようこそおいで
下さいました。本日の卓話宜しくお願いします。

田邊 雅彦 君
小川剛史様、卓話ありがとうございます。

川口 直也 君
今日も元気で。

山田 幹雄 君
本日卓話講師の小川君、宜しくお願いします。

稲熊 正徳 君
地区委員 小川様、卓話宜しくお願い致します。

武田 英昭 君
今日も元気で。

ブリヤンタ 君

今日も元気で！

照井 通夫 君	稲吉 将秀 君	原田 好展 君
大野 和宏 君	堀場 竜司 君	中島 俊朗 君
田中 秀典 君	三治 明 君	鈴木 恵一 君
波多野 真 君	市川 孝 君	前田 幹太 君
山北 秀和 君	中林 正人 君	北園 守生 君
高山 光雄 君	金井 和治 君	近藤 和彦 君
安江 寛二 君	入谷 宏典 君	串田 正克 君
内海 辰巳 君	山内 佳紀 君	川瀬 公 君
早川 正倫 君		

本日の協力	32名	52,000円
本年度の協力累計		505,000円

とされており、幕末以前では最後の本格的な内戦だそうです。ご存じの通り、一揆軍の総大将はキリシタンの中でカリスマ的な人気を得ていた当時 16 歳の少年・天草四郎 (益田時貞) でした。

従来の評価は、若い天草四郎時貞を祭り上げただけで、信仰の側面は表面上のもので、あくまで厳しい収奪に反発した一揆であるというのが定説でしたが、事態の推移から、単なる一揆とする見方では説明がつかず、宗教的な反乱という側面を再評価する説が出ているそうです。鎮圧の 1 年半後にはポルトガル人が日本から追放され、いわゆる「鎖国」の始まりとなったとされていますが、昨今は所謂「鎖国」は無かったとの説もあり、教科書から鎖国の記述がなくなったそうです。ひょっとするとオランダ人用長崎出島の口実になったのかもしれませんが。

次に、名古屋空港ロータリークラブとして外せないのは「民間航空記念日」ではないかと思えます。1951 年 (昭和 26 年) のこの日、戦後初の国内民間航空会社として設立された日本航空が、1 番機の「ど星号」または「もく星号」で東京～大阪～福岡間の運航を開始しました。

第二次世界大戦で敗北した日本は、連合国より軍民間問わず、航空機を運用することを禁止されており、当時は模型飛行機でさえ飛ばしてはいけなかったそうです。そして、この日ようやく民間旅客機の定期路線が就航しました。ただし、実際には日本航空は営業面だけを日本側が担当し、実際の定期路線運航はアメリカのノースウエスト航空が操縦士つきで担当したとのこと。この時に使われたのが、アメリカの航空機・マーチン 2-0-2 型、双発プロペラ機でした。日本航空では 5 機を運航し、「すい星」「きん星」「か星」「もく星」「ど星」の太陽系の惑星由来する愛称が付けられたそうです。

しかし、わずか半年後の 1952 年 (昭和 27 年) 4 月 9 日に「もく星号」が伊豆大島の三原山に墜落するという大事故が発生し、マーチン 2-0-2 型機は全機返却されました。なお、軍事機密もあり、この事故の原因は不明のままだそうです。

因みに、3 月 6 日は日本航空が世界一周西回り路線の営業を開始したことに由来して、「世界一周記念日」となっています。

国内民間航空運行から今年でちょうど 70 年の年に当たりますが、ご案内の通りコロナ禍で飛行機を使っただけの旅行もままならないご時世になってしまいました。しかしながら、先月 (9 月のこと) 半ばには日本のワクチン接種完了率も 50% を超えたそうですので、一日も早くパンデミックが終息して、海外ゴルフに出かけたいものだと思っております。あ！スイマセン。ロータリアンとして本年度の R I 国際大会が従来通り開催されることをご祈念申し上げ、本日の会長挨拶に代えさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



卓話

地区米山記念奨学委員 小川 剛史 君
「米山の現在(いま)と未来(これから)について」



本日、ロータリー米山記念奨学事業の卓話をさせていただきます、名古屋北ロータリークラブの小川剛史と申します。どうぞよろしくお願い致します。

実は私、今回がこちらでの初卓話ではありません。ご存じの方も多いかと思いますが、平成30年3月の空港ロータリー様の例会において、稲熊さんのご紹介で西郷隆盛の話をして頂きました。今年度地区米山委員会へ出向となり最初の卓話が空港ロータリーさんということで大変深い縁を感じました。

平素は米山記念奨学事業へのご理解とご尽力を賜り、誠に有り難うございます。名古屋空港ロータリー様には、これまでに14名の奨学生の世話クラブになって頂き、また、普通寄付金と特別寄付金を頂きまして委員会を代表して御礼申し上げます。そして今年度は奨学生の張申童さんがお世話になっております。

私は地区出向1年目になります。ロータリー歴は今年度で5年となり初めての出向先が、米山記念奨学委員会でした。現在は米山の様々な事業の運営に関わらせて頂きながら勉強をしている最中であります。本日先輩ロータリアンが多くいらっしゃる中、甚だ荷が重いのでは？という思いもありますが、米山事業と活動についてご理解を頂けるように卓話をさせていただきます。

先ず最初に『米山月間』についてお話させていただきます。何故10月なのか？という疑問があるのでは？と思います。実はもともとは月間ではなく『米山週間』でした。米山梅吉翁が逝去した4月28日までの一週間を指していたのですが、のちに10月1日～7日へ変更されました。理由ははっきりしないのですが、①ロータリー雑誌機関が4月となり重なった

②4月では各ロータリーへ送付される資料数字が1年前のものになってしまうから？

③採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある。④交通機関のストライキが4月に集中して奨

学生が例会会場に来れなくなる等々色々な理由が挙げられるのですが、⑤東京ロータリーによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議合意が行われたのが10月だったという説が有力です。1983年より月間となり定着しています。

米山記念奨学事業は1952年、日本最初のRCを設立した米山梅吉さんの功績を記念して設立された奨学制度で、外国人留学生の方のみを対象とした事業です。当時東京RCの会長だった古沢文作さんが『米山基金』の構想を発表したのが発端でした。この奨学事業は、今年で設立70年を迎えました。なぜ外国人留学生かというのと、『二度と戦争の悲劇を繰り返さない為に国際親善と世界平和に寄与したい』という当時のロータリアンたちの強い願いがあった為です。

こうして、東京RCが始めた『米山基金』は、わずか5年(1957年)で、日本の全ロータリークラブの共同事業として継承され、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。今年で財団設立55年目を迎えます。

誤解をされている方も多いと思われませんが、米山梅吉翁の功績を偲んで行われた事業であり財団の資金に米山家の資産が使われているわけではなく、財源はすべてみなさんからのご寄付で成り立っています。

寄付には普通寄付金と特別寄付金の2種類があり、空港RC様は個人平均の寄付額として1人当たり約年間4,000円を頂いております。この寄付金は、年間910人(全国)の奨学生をお世話する為の安定財源になっています。また、特別寄付金は個人・法人より任意で頂戴しており、金額に決まりはありません。

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の事業で、34地区、全地区が参加する多地区合同プロジェクトです。

この奨学金の最大の特長は『世話クラブ・カウンセラー制度』です。銀行振込が多い他の奨学金とは違って、米山奨学生にはロータリー活動に共に参加してもらい、交流することを大切にしています。

奨学生には毎月1回以上例会への出席義務があり、世話ロータリークラブ会長より手渡しで奨学金を受け取ることにしています。

奨学生にとってカウンセラーは日本での彼等の生活や勉学に関する悩み事等を相談する人生の先輩であります。時には親代わりの存在として奨学期間終了後も深いお付き合いをされている方々もいらっしゃいます。

空港ロータリー様では山北秀和さんが奨学生の張申童さんのカウンセラーを務めておられます。

(米山と国際ロータリーとの関係)

米山奨学金は日本のロータリー独自の奉仕事業として作られ、発展してきました。このため、ロータリーの活動ではあるものの、国際ロータリーとは距離を置く状況が続いていました。そうした関係が次第に変化してきたのは2004年頃からです。

2004年11月のRI理事会で米山記念奨学会が称賛されたことを契機に、これ以降ロータリー米山記念奨学会

が『多地区合同奉仕活動』の手続きを取ることに、ロータリーの名称やロータリーマークを今後も続けて使用することが認められました。

2007年には全34地区からの同意を得て、国際ロータリーの定める『多地区合同奉仕活動』としてすべての手続きを完了しました。

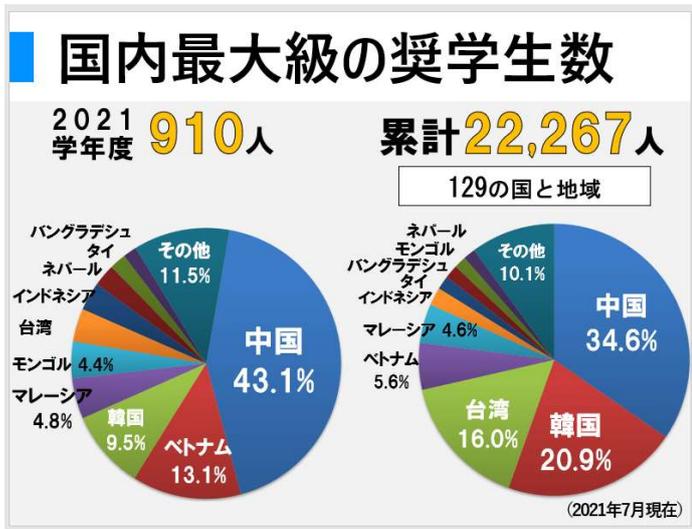
そして2014年1月のRI理事会では、ロータリー学友の定義が拡大され、米山学友もまた、ロータリー学友の一員となりました。これを受けて、2016年のソウル国際大会には世界中から多くの米山学友が参加したのです。

米山記念奨学事業は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。

2021学年度は日本全国で910人が採用され、現在、各ロータリークラブでお世話をいただいています。累計では世界129の国と地域から22,267人を支援しています。

奨学生の国・地域別の割合はグラフのとおりです。累計では中国、韓国、台湾が多く約7割を占めているのですが、最近ではベトナムの奨学生が急増しており、現役の奨学生においては中国に次いで、多くを占めています。当地区では今年度合計54名の奨学生を受け入れています。国・地域別には、中国・ベトナム・韓国などとなっています。

来年度の受入奨学生数は51名です。



採用につきましては、全国統一の『選定基準と評価表』での評価により行います。

ロータリー米山記念奨学会は、2012年に公益財団法人となりました。それまでの奨学生の選考は各地区の主体性が尊重されていたようですが、公益認定を取得したことにより、より公平性・より透明性が求められるようになりました。それを確保するため34地区共通の『選定基準と評価表』が必要となった訳です。その基準対象は下記の通りです。

■『学業』 学業に対する研究の目的、目標を明確にし、成果を上げる努力をしているか？

■『異文化理解』 異なる文化、習慣などを理解する努力をしているか？

■『コミュニケーション能力』 言語のみならず、人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受け入れる柔軟な姿勢を持つかどうか？
これに各地区の裁量が加味されます。
ただし条件がいくつかあります。

・まず、配属された世話クラブの例会に毎月必ず出席すること

・また年間行事が7回ほどありますので、各行事にも出席することも条件です。

・そして、奨学生を卒業した後は、学友になっていただきます。学友については次に説明します。

昨年度は、世話クラブとの交流だけでなく、地区奨学生が集まるイベントが中止になるなど、各所での交流が希薄になっていましたが、今年度は徐々にではありますが、再開の動きが高まりつつあります。今後も状況を眺めながら、出来る限りの創意工夫が必要かと思われま

す。
学友というのは、奨学制度を終了された方のことです。委員会活動でかなりの頻度でお手伝いをいただいております。夏・秋の研修会や忘年会にも参加、先輩として奨学生の良き相談相手になってもらっています。

巣立った学友たちは、個人としてもさまざまな形で活躍しています。教育や研究、NPOやNGO、起業する者などあらゆる分野にわたっています。豆辞典では13-14ページで6人の学友を紹介しています。あとでご覧ください。

今年度も引き続きコロナ禍に翻弄されている状況ですが、春のオリエンテーション、夏の企業研修会、学校説明会、秋の文化歴史研修会と事業を行っています。これからも国際交流の懸け橋となる優れた人材を育てるという使命に尽力して参りますので、引き続き米山記念奨学事業へのさらなる理解、ご支援と寄付のご協力をお願い申し上げます。

